

「手を動かしてまなぶ 集合と位相」(第6版1刷) 正誤表
(2025年7月23日版)

場所	誤	正
p. 18, 上から 4 行目	$2 \cdot 3$	$2 \cdot 1$
p. 68, 上から 5 行目	可算でない	高々可算でない
p. 72, 上から 5 行目	可算でない	高々可算でない
p. 79, 上から 3 行目	0.00908706005	0.00908706005...
p. 86, 上から 1 行目	このとき	ここで
p. 86, 上から 1, 2 行目	となり	なので, これは
p. 100, 上から 9 行目	可算でない	高々可算でない
p. 134, 下から 1 行目	定理 17.6	定理 17.4
p. 196, 下から 10 行目	$\mathfrak{U}^*(x)$	$\mathfrak{U}^*(x) \subset \mathfrak{U}(x)$
p. 297, 下から 14 行目	$-(g(x) - h(x))$	$+(g(x) - h(x))$

その他

- p. 77, 下から 6 行目: 「したがって,」 の直前に次を追加する.

さらに, $[0, 1]$ から $\mathbf{R}$ への包含写像は単射である.

- p. 305, 解 27.4: 「このとき, $\sim(X \setminus A)$ となる.」 の部分を次と差し替える.

このとき, 相対位相の定義 ($\rightarrow$ 定理 20.1 および p. 160) より, 各 $\lambda \in \Lambda$ に対して, X のある開集合 V_λ が存在し, $U_\lambda = V_\lambda \cap A$ となる. さらに, $(V_\lambda)_{\lambda \in \Lambda} \cup \{X \setminus A\}$ は X の開被覆となる. X はコンパクトなので, $(V_\lambda)_{\lambda \in \Lambda} \cup \{X \setminus A\}$ の有限部分被覆が存在する. すなわち, ある $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_n \in \Lambda$ が存在し, $X = \left(\bigcup_{i=1}^n V_{\lambda_i} \right) \cup \{X \setminus A\}$ となる.